



本巢郡北方町立こども園 園だより

いきいき北っ子

令和7年3月19日

春休み号

家庭と地域の力に感謝

まもなく令和6年度が終わります。この一年でお子さんの心も体も大きく成長し、できることが増えました。子どもの成長に驚かされた一年でした。

さて、3月19日(水)、卒園式を行いました。年長児がこども園から立派に巣立っていきました。年長児の一年を振り返ると、様々な園内の行事をはじめ、北学園との交流、さらには地域行事にも積極的に参加しました。

運動会では、下学年の子たちが年長児の姿に憧れをもち、運動会が終わった後も年長児の踊りをまねて遊んでいました。また、北学園との1年生徒の交流を通して、人と関わる力が育まれました。さらに、園内の保育発表会や、北方町の文化祭や合唱祭に参加し、どの子どもやり切ることで満足感や達成感を味わい、一人一人が自信をもって取り組むことができました。

このように、様々な行事を通して、間違いなく年長児は、たくましく成長しました。その集大成の姿が卒園式でした。

卒園式では、年長児の3つのすばらしい姿を紹介しました。



あお組 卒園式練習の様子



みどり組 卒園式練習の様子

年長児の皆さんの素晴らしい姿を3つ紹介します。

一つ目は、「進んで挨拶をする」ことです。担任の先生をはじめ、こども園の先生や、お客さん、友達のお母さんやお父さん、そして地域の方に進んで挨拶することができました。この姿は、はじめからできる姿ではなかったと思いますが、できるようになったのは「挨拶すると気持ちいいなあ」と、実感できたからです。そして、その気持ちは、どんどん大きくなり、今では周りの人を笑顔にしようと挨拶しています。そんな姿を見て、年中さんや年少さん、つぼみやふたばさんの子どもたちもまねをして挨拶するようになりました。

二つ目は「人の顔を見て話を聞く」ことです。話す人の顔を見て聞くということは、集中して聞くという姿勢です。この姿は小学校で必ず役立ちます。小学校へ入学すると、一日の生活は勉強が中心です。先生の話をしっかり聞かないと、勉強はわからなくなってしまいますので、この姿勢を大切にしてください。

三つめは「友達と仲よくしようとするほかほかの心」です。この一年間、みなさんは、いろんなことに挑戦してきました。その中でこんな言葉がいっぱいありました。「いっしょに遊ぼう」「入れて」「いいよ」「どうしたの?いっしょにやろうよ」「こうしたらいいよ」など、誰に対しても優しい温かな言葉で話しかけていましたね。たまに、友達と言ひ合いになった時は「ごめんね、ぼくも悪かった」と、自分の気持ちを正直に伝え謝ることができました(卒園式の話の一部要約したもの)。

上記の姿は「心身ともに健康でたくましい子～元気いっぱい 仲よしいっぱい 考えいっぱい～」につながっており、非認知能力も合わせて生まれているものと考えております。こうした姿は、こども園だけで育つものではなく、家庭や地域の協力があってこそ生まれるものと考えております。今後ともこども園、家庭、地域が同じベクトルで子ども達を育てていきたいものです。

最後になりますが、3月26日(水)は、めばえから年中までの子ども達による後期終業式を行います。どの子ども成長を実感できるようにし、次の学年へ向けて希望をもたせていきたいと考えております。一年間、ご理解、ご協力ありがとうございました。